

日本海沿岸の津波災害軽減に向けて

東日本大震災後の浸水想定のための津波履歴調査

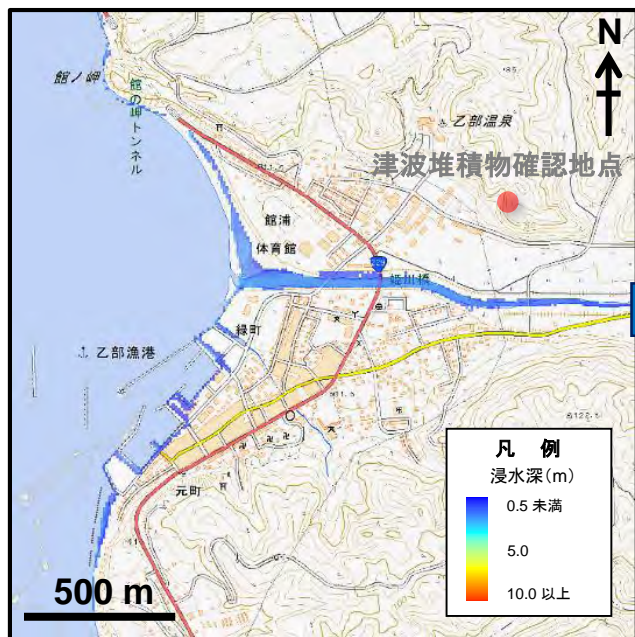
背景

- 東日本大震災を契機に、大規模地震・津波などの自然災害に対応する強靱な北海道づくりが喫緊の課題
- 日本海沿岸では、堆積物調査などの研究データが豊富な太平洋沿岸と比較し、津波履歴に関する科学的知見が不足
- 過去の津波履歴から起こりうる最大クラスの津波を想定し、科学的根拠に基づく津波浸水想定を設定することが必要

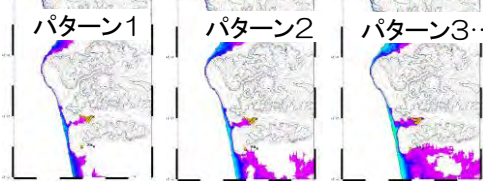
成果

古津波の実態を把握

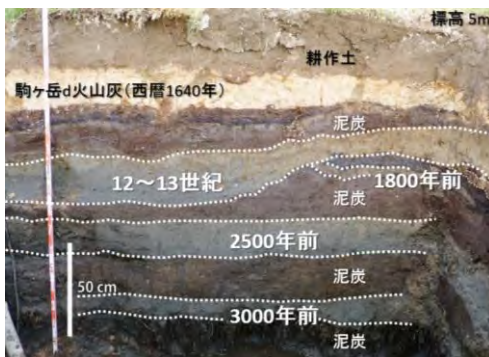
Before (H22.3公表の浸水想定)



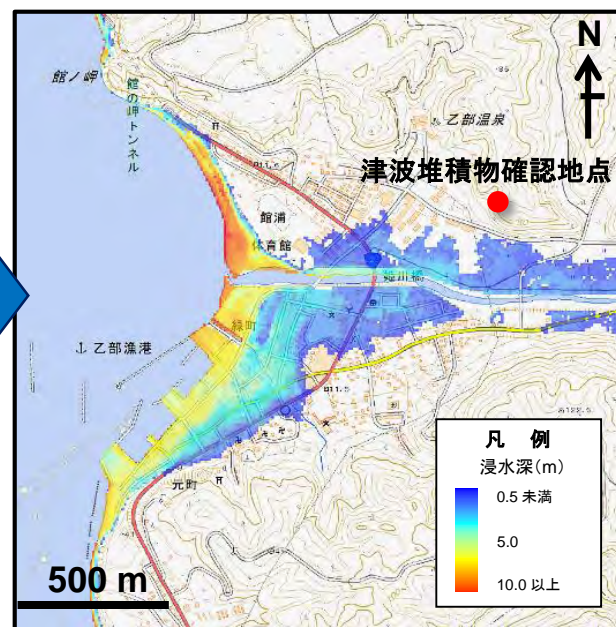
様々な条件で計算、堆積物分布と合うものを抽出



津波堆積物による検証



After (H29.2公表の浸水想定)



期待される効果

最大規模の浸水想定や過去津波の浸水実績図により、市町村でのハザードマップ見直しや津波避難計画、まちづくり計画の立案などに活用され、道民の安全・安心な暮らしに大きく貢献